

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(生)乙第30号	氏名	陳華
学位審査委員	主査 連清吉 副査 佐久間正 副査 谷村賢治 副査 菅原潤		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>陳華氏は2007年3月長崎大学大学院生産科学研究科博士前期課程を修了後、2007年4月本学大学院生産科学研究科博士後期課程に進学し、2010年3月単位取得して満期退学した。</p> <p>同氏は、生産科学研究科博士後期課程に進学以降、共生環境創成学を専攻して所定の単位を修得すると共に、幕末から明治・大正にかけての漢学者の中国観の変遷に着目し、主として儒学の流れをくむ漢学者の、時代の変化に応じた価値観や内面を中心に洗い直し、日本人の東アジア観の形成過程からアイデンティティを考察した。さらに、近代日本の漢学者の中国観は、日本人のアイデンティティに関する問題で、日本が自己認識を形成する過程を語っている。近代世界における日本は、自身を東西文明を最良の形で融合させ、構築させたと位置づける。これによって、日本独特の東アジア観が形成されたと論述し、その成果を2010年5月に主論文「近代日本における中国観—漢学者を中心に—」として完成させ、参考論文として、学位論文の印刷公表論文3編(うち審査付論文2編)を付して、長崎大学大学院生産科学研究科に博士(学術)の学位の申請をした。</p> <p>長崎大学大学院生産科学研究科教授会は、2010年7月21日の定例教授会において論文内容等を検討し、本論文を受理して差し支えないものと認め、上記の審査委員を選定した。委員は主査を中心に論文内容について慎重に審議し、公開論文発表会を実施するとともに、最終試験を行い、論文審査および最終試験の結果を2010年9月8日の生産科学研究科教授会に報告した。</p> <p>本論文では、およそこれまで日本の近代化は国家的事業による「和魂洋才」の精神がもたらした西洋文明、西洋文化の積極的受容の成果と論じられ位置づけられてきた「西洋一辺倒」の道筋に、当時の日本知識人たちの中国観と西洋観の多様性と変遷にミクロとマクロの両面から光りをあて、主として江戸期儒学の流れを汲む漢学者の、時代の変化に応じた価値観や内面を中心に洗い直し、比較・分析し、主として日本人の東アジア観の形成過程からアイデンティティの考察を試みた。その中国観分析の方法は、まず明治期日本に於ける中国思想・文学の受容の一端を漢学全集の編纂意識と事業の意義を分析する。また清末中国の現場を描写した漢文紀行、大正期の芥川龍之介中国紀行から、当時の日本人の中国観の変遷を新資料を駆使して分析する。さらに、補論において日本</p>			

におけるキリスト教文学（南蛮物）から日本人のキリスト教受容の精神性、風土性などを分析し、近現代小説におけるキリスト教受容観の本質に迫る考察で、本論を補っている。

以下、具体的な評価の視点を掲げる。

まず、幕末の文明観として、安井息軒の『弁妄』を取り上げ旧訳聖書の創世記批判、平等思想などを儒教および民族主義の立場からの批判は、息軒なりのキリスト教研究の末のものであったが、当時の西洋志向の風潮の中では「無用の観」として無視されたことを指摘、塩谷宕陰の『六芸論』を西洋実学の導入を肯定した「東西文明の折衷論」として位置づけ、清朝俞曲園の『春在堂隨筆』の評価を息軒の認識と相対化させた。

そして、著名な竹添井井の『棧雲峽雨日記』を中心に「幕末明治中国見聞録集成」（ゆまに書房）復刻版をテキストに、岡鹿門『観光紀游』、内藤湖南『燕山楚水』および芥川龍之介『支那游記』をとりあげ、明治から大正期の中国旅行を通しての見聞と感想などを分析した。アヘン戦争に犯され疲弊した現実を見ながらも未来への可能性を見た竹添、多数の清朝末の政治家・文人らと交流し論争した岡鹿門、中国の歴史的華夷秩序観から開放された日本の姿を相対化した内藤湖南の心象と中国観を摘出し、位置づけている。各論は、中国人留学生ならではの論者のもっとも独創性の認められるところである。とくに『観光紀游』の「精神的中国を批判」した漢学者の内面分析は適切で評価にあたいする。さらに芥川龍之介の『支那游記』は近年文庫化され、中国においては批判の対象だったが最近再評価されている。

さらに、町田三郎の『明治の漢学者たち』に触発された論点をふまえながら、明治から大正期にかけての学問の推移を展望し、『漢文大系』、『漢籍国字解全書』など早稻田系学派の出版活動、『日本倫理彙編』（井上哲次郎）など今日もっとも注目を集めている漢籍出版の編纂意識を分析する。

学位審査委員会は、「近代日本における中国観—漢学者を中心に—」という魅力的なテーマを十分に描き、中国人として生まれ育った経験を生かした優れた研究論文であると認め、博士（学術）の学位に値するものとして合格と判定した。